

閑話

「社会基盤の整備や維持管理の課題解決を提案し、実現することが建設コンサルタントの使命だ」と語るのは、大日本コンサルタント執行役員東北支社長の向田昇さん。

宮城県加美町に生まれた。幼いころ、建築の仕事をしていた父に連れられて行った現場の光景がま



向田 昇さん

の約1カ月間は、会社に寝泊まりして橋梁点検の結果を取りまとめた。「『東北のために仕事をしたい』というのが転職の動機だった

提案を続けるのが使命

ふたに焼き付いている。「ものづくりができる仕事に就きたい」との思いから、東北学院大工学部土木工学科に入学。建設コンサルタント企業でアルバイトしたことがきっかけでコンサルタントの技術者を志すようになった。大学卒業後に就職した会社から大日本コンサルタントに移って30年。一貫して東北のインフラ整備に携わってきた。東日本大震災後

ので、辛いとは思わなかった」と振り返る。震災後は、新たな領域であるCM（コンストラクション・マネジメント）業務の管理技術者も経験した。「事業全体を最適化することが、われわれの役割。そのためには、提案し続けなければならぬ」と強調する。現職に就いて5カ月余り。支社のマネジメントに奔走している。